

筒井町湯取車 名古屋東照宮・名古屋金シャチ横丁への山車曳行について（ご案内）

名古屋市指定文化財

東区筒井町 湯取車保存会



東区筒井町の湯取車は、万治元年（1658）に、名古屋東照宮祭礼車として中区旧桑名町で造られ曳き出されていた古車を、天保2年（1831）に、当時の情妙寺前（現在の東区筒井町四丁目）へ譲り受け現在にいたっており、毎年6月第1土・日曜日の例祭である「筒井町天王祭」および「徳川園山車揃」と10月に行われる「名古屋まつり・なごやかまつりひがし」に山車を曳き出しています。

名古屋東照宮祭は徳川家康を祀る名古屋東照宮の祭礼で、三の丸天王祭・若宮祭とともに、名古屋における三大祭の一つで、徳川家康の命日の4月17日に行われています。

戦前の名古屋東照宮祭には九輛の山車が参加し、初めて山車が曳かれるようになったのは、元和5年（1619）からで、九輛の山車が出揃ったのは、宝暦6年（1756）です。

これらの九輛は、名古屋を代表する山車であり、多くの人々から親しまれた名物祭車で、名古屋東照宮から当時のメインストリートであった中区本町通りを通り、若宮八幡社の御旅所まで行く、名古屋城下町で繰り広げられた最大の行事でしたが、昭和20年（1945）の太平洋戦争ですべての山車（9輛）を焼失してしまいました。



しかし、東区筒井町の湯取車は、名古屋東照宮の祭礼で曳行されていた古車ではありますが、江戸時代からの名古屋東照宮祭の歴史を担う、現存する唯一の山車です。

さて、湯取車の起源であります、名古屋東照宮（中区丸の内二丁目）が、平成30年（2018）に御鎮座四百年にあたります。

< 曳行予定時間 > (敬称略)

湯取車山車蔵	7:40
少彦名神社	9:25
名古屋東照宮	10:00
那古野神社	13:20
愛知縣護國神社	14:00
金シャチ横丁	15:00
湯取車山車着	17:40

当保存会ではこれを記念して、平成30年5月20日（日）〔予備日27日（日）〕に名古屋東照宮への「御社参山車曳行」を実施します。

また、この曳行にあわせて、名古屋城総合事務所との共同による、今春開業した名古屋金シャチ横丁へも曳行いたします。

名古屋金シャチ横丁は、明治9年に名古屋東照宮が、現在の地に遷座されるまでの跡地でもあり、たいへん縁があります。

曳行当日は、名古屋東照宮でのからくり奉納や、名古屋金シャチ横丁でのからくりの披露をし、名古屋東照宮祭の歴史の再確認や、市民のみなさまに名古屋の山車祭の素晴らしさを再認識していただくと共に、地域の活性化につながればと思っています。

この曳行に際して、多くの方にご覧いただければ、幸いかと存じます。